

2023年2月

プレスリリース

茨城県笠間市笠間 978-4
公益財団法人日動美術財団
笠間日動美術館

奥谷博記念室

2023年4月1日(土) 日本館(旧:パレット館)5階に開設



「底力」2021年 181.8×227.3 cm

拝啓

2017年、文化勲章を受章し、名実ともに21世紀の日本洋画界を代表する画家、奥谷博氏。1966年に第1回昭和会展で昭和会賞を受賞されて以来、弊財団の代表理事、長谷川徳七は氏と交友を深めながら、「風生」や「阿修羅」などの作品を収蔵してまいりました。そして今春、「奥谷博記念室」を開設する運びとなりました。

奥谷氏のご協力により新たな作品を加え、1955年作の「二十歳の自画像」から2021年作の「底力」までをご紹介します。様々なモチーフに取り組みながら、長年にわたり日本洋画界を牽引する奥谷氏の画業をご覧いただければ幸いです。なお、本記念室の開設に際し、パレット館は日本館と改称することになりました。あわせてご報告いたします。

つきましては、詳細をご案内いたしますので、ご取材等のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

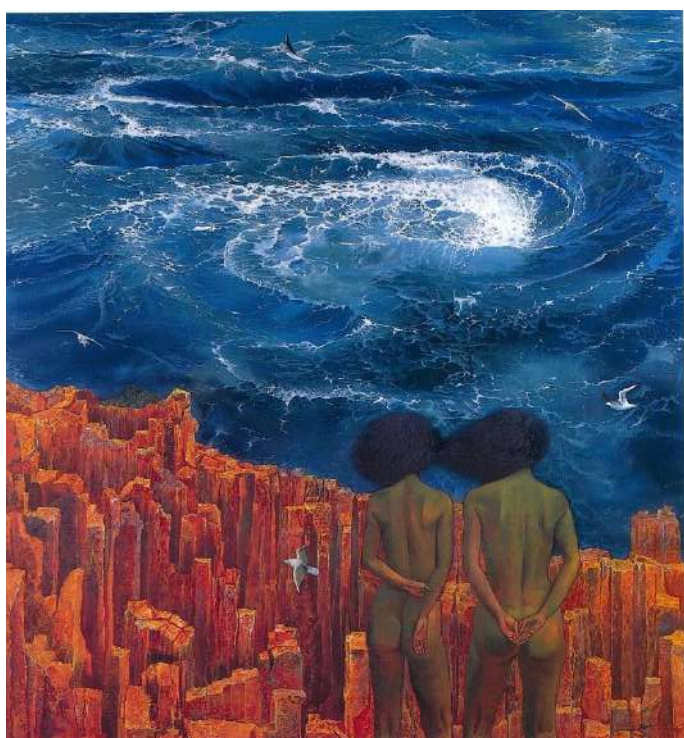
敬具



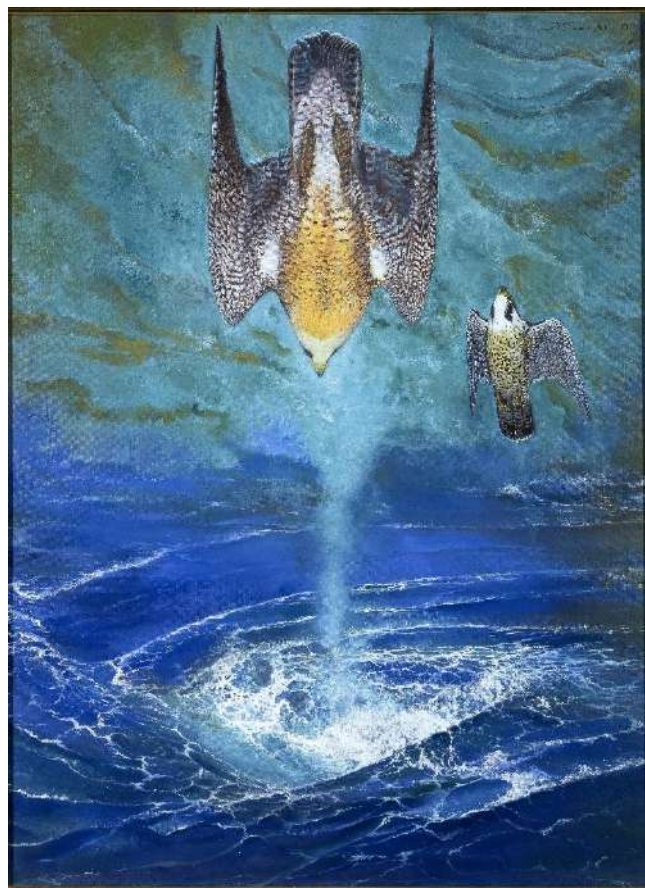
「城址」1971年 72.0×114.0 cm



「虎と蜘蛛」2003年 130.0×105.0 cm



「風生」1991年 157.0×146.0 cm



「絶望の極」2006年 130.3×97.0 cm



「阿修羅」1998年 130.7×162.2 cm

内覧会

日時:3月31日(金)14:00- / 会場:日本館5階 奥谷博記念室

会見後、企画展示館3階カフェにて懇親会を予定しております。

東京方面よりお越しのプレスの皆様へ:銀座日動画廊より、バス(11時発)を手配いたします。

詳しくはお問合せください。

奥谷博記念室 開室記念対談会

日時:4月15日(土)14:00-15:00 / 会場:日本館5階 奥谷博記念室

講師:画家 奥谷博 / 川崎市岡本太郎美術館館長 土方明司

奥谷博 略歴

1934 8月12日、高知県宿毛市に生まれる。

1963 東京芸術大学美術学部専攻科(油画)修了、大橋賞受賞。

1965 独立美術協会第33回展出品、独立賞・須田賞受賞。

1966 第1回昭和会展出品、昭和会賞受賞。独立美術協会会員推挙。

1967 第1回文部省芸術家在外研修員(現・文化庁新進芸術家海外研修員)として渡欧(~'68年)。

1971 渡仏(~'73年)。

1982 奥谷博展〈静けさと神秘の詩〉(神奈川県立近代美術館)。

1983 安井賞選考委員となる。

1984 第3回宮本三郎記念賞受賞。

1993 奥谷博展〈現代の黙示録〉(刈谷市美術館、笠間日動美術館、山形美術館、平塚市美術館、三重県立美術館)。

1995 第18回安田火災東郷青児美術館大賞受賞。

1996 第52回日本芸術院賞受賞 日本芸術院会員となる。

1999 『奥谷博作品 1952—1999』刊行(日動出版)、出版記念展(日動画廊)。

2001 東京芸術大学美術学部客員教授となる(~04年)。

2002 DOMANI・明日展 2002—文化庁在外研修への成果—出品(安田火災東郷青児美術館)。

日韓現代美術展の実行委員、出品(高島屋横浜店、ソウル市)。

2003 独立美術協会 70回記念〈輝け日本油画〉展の独立代表、出品(主催:朝日新聞社)。

安田火災東郷青児美術館大賞 25周年記念—25人の絵画展—出品(安田火災東郷青児美術館)。

2007 宿毛市名誉市民。世界遺産条約採択 35周年記念奥谷博展—訪ねた世界遺産—(パリ、ユネスコ本部)。

文化庁芸術家在外研修制度 40周年記念「旅」展 美術部門実行委員代表(国立新美術館)。

奥谷博展(高知県立美術館)。文化功労者顕彰。

2008 奥谷博展(そごう美術館、茨城県近代美術館、松本市美術館)。

2011 日本芸術院・大韓民国芸術院交流展出品・出席(韓国)。

2012 独立美術協会 80年史刊行委員会代表、世界遺産条約採択 40周年記念最終会合における奥谷博作品展示(国立京都国際会館)。

2015 『奥谷博Ⅱ作品 1999-2015』刊行(日動出版)、傘寿・画集刊行記念 奥谷博展(日動画廊)。

2017 文化勲章受章。

2019 近代日本芸術の100年 日本芸術院創設百周年記念展(日本橋・三越)の事業実施検討委員をつとめ、出品。

2022 奥谷博展—無窮へ(高知県立美術館、神奈川県立近代美術館)。



「日本 HINOMOTO-大鳥居」2009年 188.0×259.0 cm

■ 開設日 2023年4月1日(土)

■ 会場 日本館(旧:パレット館)5階(約180㎡)

■ 交通案内

【JR利用】・常磐線友部駅北口より『かさま観光周遊バス』(9:50/10:50/11:50 発)で約15分(片道100円)
または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩2分・水戸線笠間駅より徒歩約20分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。

【自動車利用】・常磐道友部JCT経由、北関東道友部ICより国道355号線経由約6km・東北道栃木都賀JCT
経由、北関東道笠間西ICより国道50号線経由約8km

■ お問い合わせ

金澤敦子(03-3571-2553 日動画廊 / kanazawa@nichido-garo.co.jp)

塚野卓郎(0296-72-2160 笠間日動美術館 / t.tsukano22@gmail.com)

〒309-1611 茨城県笠間市笠間978-4 笠間日動美術館

電話:0296-72-2160 / Fax:0296-72-5655

以上